

魚の城下町

羅白町広報誌



1
2016
NO.274

みんなが主役のまち

祝平成28年羅白町成人式

記念講演
「日本の若い力、東日本
ボランティア」
渡辺 隆



新たな門出を迎え

～平成28年羅白町成人式～

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、おだやかな中にも希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より町行政の推進に對しまして、深いご理解とご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年、四月二十八日より羅臼町長としての仕事をさせて頂いていただき、現在までの八か月は、自分の志を胸にがむしやらに町長としての仕事を遂行してまいりました。

この間、いろいろな方々より、ねぎらいや励ましなど叱咤激励をいただいたことは、私自身の励みとなりました。本当にありがとうございました。

さて、昨年を振り返ってみますと、一年を通して災害に苦しんだ年となりました。年明け早々からの吹雪による国道335号の度重なる通行止めや観測史上最高となった大雪による自衛隊の要請、各所の雪崩や落石、幌萌地区の大規模な地すべりによる海岸隆起など様々な災害が発生し、爆弾低気圧の影響では高潮や高波が発生し、民家や番屋を直撃して多大な損害をもたらしました。

今年も、災害もなくおだやかな年になることを心から願っておりますが、災害はいつやってくるかわかりませんので、町民の皆様には日頃より、防災の心構えを持ち「自分の命は自分で守る」の精神を忘れないでいただければと思います。

基幹産業である漁業をとりまく環境も厳しさを増しております。鮮魚取扱いは、ほとんどの魚種で低迷が続いております。

そのことにより、羅臼漁業協同組合では格差是正の取り組みをしており、一定の方向性は決まったと伺っておりますが、水産業を中軸とする羅臼町経済にとってその基盤の強化と安定維持が重要な課題となっておりますので、引き続き羅臼漁業協同組合との連携を深め対応してまいります。

また、漁獲低迷の最大の原因であるロシアトロール船の操業阻止に向けましてもオーロ羅臼また標津町、別海町と共に関係機関に強く要請活動を行ってまいります。

漁獲の低迷により、関係する買受業者や加工業者の方々も厳しい状況であると思えます。今後は、地域内循環のもとにいかにつ加価値をつけた商品を作っていくかが課題でもありますので、六次化に向け業界の皆さんとしっかり膝を交えお話をする機会を設けて策を協議してまいります。

観光産業では、学習旅行の誘致など関係団体が協力し合い、安心、安全に受け入れができるよう連携し、観光協会を中心にガイドの養成も行うこととなっております。

「につぼん丸」の寄港もさらに三年間のお約束をさせて頂いたので、おもて

なしの心で対応してまいります。

新設される「知床未来中学校」につきましましては、具体的に建設に向けての実施計画を行って、早期の着工を目指してまいります。

校歌につきましましては、羅臼大使でもある「吉幾三」様に依頼するとの方針が選考委員より示されましたので、ご本人に打診しましたところ快くお引き受けいただきました。現在は校章の募集をし、今後決定していくことになっております。

知床らうす診療所も釧路孝仁会記念病院に指定管理という形で運営をお願いして四年目となりました。

この間、孝仁会はもとより、町民の皆様にもいろいろとご理解、ご協力いただきましたこと心よりお礼申し上げます。

二期目の契約更新のお願いをしたところ、引き続き運営いただけるとのお返事をいただきましたが、私たち町民も医師や看護師の皆さんが快く働いていただけるよう、できる限り時間内受診に努めていきたいと思います。

昨年十二月一日より始めました「羅臼町ふるさと納税」返礼品の取り組みは、おかげさまで順調に全国よりご寄付をいただいております。

今後は、返礼品もさらに充実をしましてまいりますので、町民の皆様には、お知り合いなどへのPRをお願いいたします。

町内会との座談会もほぼすべての町内で開催させていただき、直接声を聞かせていただきました。ご提案いただいたことにつきましましてはしっかりと協議してまいります。

今後は、産業団体や青年部、女性部、文化活動団体や老人会なども座談会を開催できればと考えております。

アンダー60創造会議、オーバー60協力隊の取り組みも行っております。

今年も、まだまだ多くの課題や事業への取り組みを行っていかねばなりません。町民の皆様の安心、安全そして幸せのためにさらに努力してまいりますので、今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成二十八年が皆様にとって輝かしい希望に満ちた年となりますように心から願いを込めまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十八年元旦

羅臼町長 湊屋 総

特集

ふるさと納税

平成27年12月1日より羅臼町も「知床・羅臼まちづくり基金」
(返礼品制度導入)を始めました。

これからも知床羅臼町の特産品を
多くの方々に伝えてまいります。



ふるさと納税で「地方創生」

地方で生まれ育ち都会に出てきた方には、だれでもふるさとへ恩返ししたい思いがあるのではないのでしょうか。

育ててくれた、支えてくれた、一人前にしてくれた、ふるさとへ。都会で暮らすようになり、仕事に就き、納税し始めると、住んでいる自治体に納税することになります。税制を通じてふるさとへ貢献する仕組みができないか。そのような思いのもと、「ふるさと納税」は導入されました。

ふるさと納税には三つの大きな意義があります

第一に、納税者が寄付先を選択する制度であり、選択するからこそ、その使われ方を考えるきっかけとなる制度であること。それは税に対する意識が高まり、納税の大切さを自分ごととしてとらえる貴重な機会になります。

第二に、生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域に、これから応援したい地域へも力になれる制度であること。それは人を育て、自然を守る、地方の環境を育む支援になります。

第三に、自治体が国民に取組をアピールすることであるさと納税を呼びかけ、自治体間の競争が進むこと。それは、選んでもらうに相応しい、地域のあり方をあらためて考えるきっかけへとつながります。

総務省／ふるさと納税ポータルサイト／ふるさと納税で地方創生 より

羅臼町では平成十七年より、寄付金を財源として、寄付者の社会的投資を具体化するこ
とにより、寄付を通じた住民参加型の地方自
治を実現し、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的として、知床・羅臼まち
づくり寄付を始め、知床の自然保護・保全に
関する事業、医療・保健・福祉のまちづくり、
北方領土返還運動、中学校改築の四つの事業
に対し寄付を募りました。

平成十七年から二十七年十一月まで、総計
で四百八十四件、約二億二千五百万円、年平
均四十四件、約二千万円の善意の寄付をいた
だき、それぞれ指定された目的に沿って使わ
せていただきました。

生まれ変わった「知床・羅臼まちづくり基金」

羅臼町は昨年十二月一日から返礼品制度を導入した「知床・羅臼まちづくり基金」ふるさと納税を開始し、申し込みが十二月のひと月だけで六五九件、千三百五十七万三千円の申し込みが集まりました。

申し込みの詳細は、関東周辺より三百八十八件、七百四万円、東海周辺より六十件、九十万円、関西周辺より九十一件、百六十四万円となっており、申し込み者へ返礼品を贈ることから、このふるさと納税を通して地域の産業に寄付されたお金が使用されることとなります。

返礼品は、町内の事業所が製造しているもので、イクラやタラコ、鮭やタコの加工品、羅臼産魚介類の詰め合わせ、大漁旗のエプロンやミトンセットなど、八店舗十四種類の特産品があります。

特に人気なのがイクラ、タラコ、時鮭切り身セットや鮭児が好調で、品切れになった返礼品もあります。返礼品については二か月ごとに更新することとしており、二月からはさらにウニや昆布などの返礼品も仲間入りすることが決まっています。

大切な寄付の使い道を、こちらの六項目に変更しました

- 地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業
- 一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまちに関する事業
- 自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業
- 豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業
- 持続的な行財政運営ができるまちに関する事業
- その他目的達成のために町長が必要と認める事業



寄付者の声！

- ・ 応援しています
- ・ 昔友達がそちらにいたので
- ・ 有効にご活用ください
- ・ 知床の美味しいイクラを期待しています！
- ・ 日本ハムファイターズの吉川光夫選手のファンなので、応援大使を務めている羅臼町に寄付させていただきます
- ・ 地方から大いに中央に発信してください。期待しています
- ・ 新町長のご活躍を祈念しています
- ・ 応援しております!!
- ・ 羅臼は、昆布のイメージでした。たらこは、福岡のイメージでした。楽しみです！
- ・ お世話になります。たのしみにしております
- ・ 羅臼町には行ったことはないのですが、羅臼という音の響きが素敵ですね。これから冬本番、皆様のご活躍を陰ながら応援しております
- ・ 大好きないくらを楽しみにしています！
- ・ 早稲田大学探検部OB会の紹介です。今年八月、羅臼岳登山がてら羅臼町を訪れました、良い街づくりを応援しています

羅臼町国民健康保険の安定運営にご協力をお願いします。

羅臼町国民健康保険（以下 国保）は、加入者のみなさんがお使いになった医療費の七割と高額な医療を受けられた場合に、各世帯の所得基準に合わせた自己負担額の限度額以上を負担することで、みなさんの医療費負担を一定に保たせていただいています。

平成二十七年年度の医療費が増大しています。

平成二十五年度からみなさんのご協力で、医療費が低い状態で推移していました。

しかし、本年度になって、大幅に医療費が増えています。

本年度の決算見込みでは、昨年度（平成二十六年年度決算）と比較して約一億円も医療費が増えることが予想されています。（下記表参照）

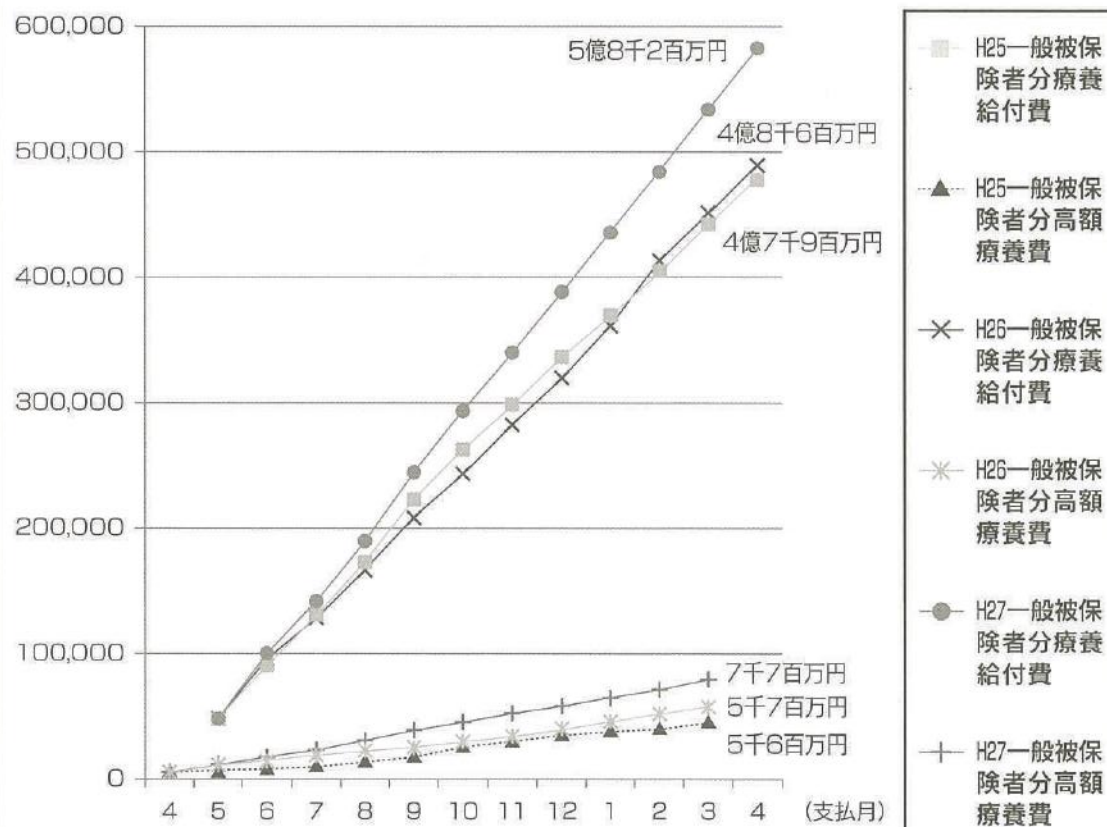
医療費の増大は国保税の引き上げにつながります。

国保の財源は大きく分けると、国の補助金が1/3。北海道の補助金や法律で決められている羅臼町が基本的に負担する額が1/3。残りの1/3が国保税に求められます。

そのため、医療費が大きくなると国保税に求めなければならない金額も増えることとなります。

羅臼町国民健康保険医療費の推移(見込)表

(単位：千円)



「高い」と言われる国保税をこれ以上上げないために基金(貯金)を繰り入れていきます。

ここ数年医療費が低く推移したため、運営費としての基金(貯金)を約九千万円貯めることが出来ました。

しかし、医療費が低く推移したとはいえ、国保加入者の減少やその他いろいろな要因で、運営としてはぎりぎりの状態です。

このため、本来は税率変更などで国保税額を増やし財源を確保することも検討しなければならぬところですが、現在の町の経済状況等から、これ以上みなさんに負担を求めることは困難であるという判断により基金を少しずつ使うことで、税額を変えないようにしてきました。

このような状況で急激に医療費が上がると、やはり基金から繰り入れるしかありませんでした。

このため、ようやく貯まった基金がほぼ無くなってしまいました。

医療費を抑制するために羅臼町が勧める方法

①健康診断の受診

健診を受け、生活習慣を確認し、体調管理をすることで病気の早期発見・早期治療を勧めています。

②ジェネリック医薬品(後発医薬品)の利用

ジェネリック医薬品は効果がほぼ同じで、価格が安いいため、個人負担も国保会計が負担する額も少なくなります。

医療費の抑制にご協力をお願いします。

国保の医療費を使うのは、国保保険証を持たれているみなさんです。国保医療費の抑制は、国保保険証を持たれているみなさんしか出来ません。

国保税額が増減する理由は、医療費と直結しています。健康管理に努め、医療費の抑制にご協力をお願いします。

平成二十七年 羅臼町優良家庭表彰(対象年度:平成二十六年)

町では、羅臼町国民健康保険優良家庭表彰を行っています。これは、世帯を基本として税を納期内に完納し、その年度に医療機関を利用しなかった無受診世帯で、かつ特定健診を受けられている世帯に対して表彰する制度です。

平成二十七年度は二世帯が表彰対象となり十二月二十一日に保健康福祉課長が各家庭を訪問させて頂き表彰状の伝達を致しました。

優良家庭表彰世帯

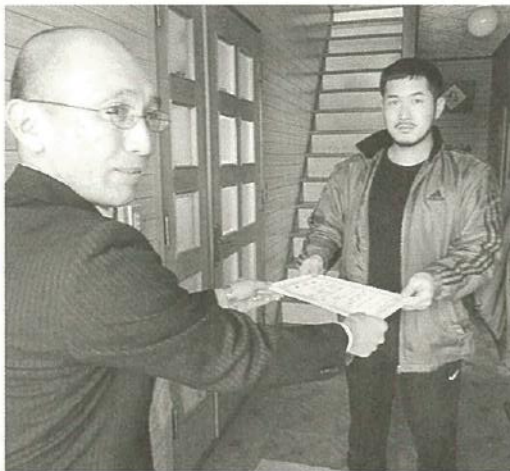
(年数)

相木 千草様 (二年)

大友 敏春様 (一年)

※国保は世帯を単位として加入するため、世帯主様のお名前で表彰させて頂いております。

※掲載は順不同です。



各家庭を訪問させていただきました。
(写真:大友 敏春様方 大友真吾 様)

高血圧にご注意を!

ヘルス
チェック

羅臼町で亡くなる人の死因の上位に心臓の病気や脳の血管の病気があります。これらの病気の原因となるものの一つに高血圧があります。そのため普段の自分の血圧の状態を知り、適切な対応がとれる様にご家庭で血圧を測る習慣をつけましょう!!

正しい測り方について

① 測定のタイミング

1日2回(朝・夜)行う。朝は起床後1時間以内、トイレに行った後、朝食の前、薬を飲む前です。夜は寝る直前、入浴や飲酒の直後は避けて測って下さい。

② 測定方法

血圧計の腕に巻くベルト(カフ)を心臓と同じ高さになるように座ります。椅子に座って1~2分経ってから血圧を測りましょう。

③ 家庭血圧の基準値

正常血圧の基準値は収縮期血圧125mmHg、拡張期血圧85mmHg未満です。高血圧の基準値は収縮期血圧135mmHg、拡張期血圧85mmHg以上です。ご家庭で計測して収縮期血圧135mmHg、拡張期血圧85mmHg以上が続くのであれば、記録したものを持って病院の受診をおすすめします。



子育て情報ひろば ~すくすく~



いよいよ冬を迎えて、これからインフルエンザが次第に流行する季節となってきました。インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴による飛沫感染です。したがって、その飛沫を浴びないようにすることができれば、感染する機会は大きく減少すると言われています。そのため、咳エチケットやマスクの着用、うがい、手洗いをこまめに行うことは、感染予防のためには重要です。また、適度な湿度(五十〜六十%)を保つことは、気道粘膜の防御機能低下を防ぐために効果的です。体の抵抗力を高めるために十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がけることも大切です。もしもインフルエンザにかかっ

★1月・2月・3月の子育てに関する情報♪

★ありんこが会場 ☆公民館が会場 ※一役場

1月25日 ★ありんこ計測日	2月25日 ☆ふれママ(Baby's スクア)
1月29日 ☆離乳食教室(コックン)	2月26日 ☆離乳食教室(カミカミ)
★のびのび広場	3月1~2日 ☆乳児相談
2月1日 ★ママの日♪	3月2日 ★ありんこ広場
2月3日 ★ありんこ広場	3月3~4日 ☆2歳児相談
2月4日 ☆ふれママ(ママごはん)	3月7日 ★ママの日♪
2月5日 ★すくすく広場	3月9日 ★お別れ会
2月10日 ★春幼訪問	3月14日 ★ありんこ計測日
2月12日 ☆ふれママ(手作り絵本)	3月16日 ★ありんこ広場
2月17日 ★春幼訪問	3月18日 ★のびのび広場
※ふれママ(お産のスヌ)	3月23日 ★ありんこ広場
2月18日 ☆ちいさい子のお話会	3月25日 ☆離乳食教室(コックン)
2月24日 ★ありんこ広場	

たかもしれないと思つたら、早めに医療機関を受診しましょう。抗インフルエンザ治療薬の服用の適切な時期(発症から四十八時間以内)に治療を開始すると発熱期間の短縮や鼻や喉からのウイルス排出量も減少します。なお、症状が出てから二日以降に服用した場合、十分な効果は期待できないと言われています。最後にありますが、日頃からの手洗い、咳エチケットなど基本的な習慣が自分自身や家族を感染から守ることにつながります。今一度、家族で声掛けをし合ったり、確認してみましよう。

早期発見・治療！生活改善で腎臓病の予防

～みんなで育む・みんなの診療所～

腎臓病とは？

腎臓病は、その名の通り、腎臓のはたらきが悪くなる病気です。腎臓は体の中の毒素や老廃物の除去、水分の調節といった、生命を維持し、身体を環境を一定に保つ大切な役割を担っており、腎臓に問題が起ると身体中にさまざまな影響がでます。

一度失われた腎臓の機能は、多くの場合は回復することがなく、慢性の腎不全となります（急性の腎臓機能障害の場合など、例外はあります）。さらに腎臓の機能が低下し腎不全が進行すると、体の中に老廃物がたまり、尿毒症の症状が現れます。

たまった老廃物を取り除くためには、腹膜透析（PD）や血液透析（HD）といった透析療法、あるいは移植といったなんらかの代替りの治療法が必要になります。

一時は「不治の病」とも呼ばれた腎臓病ですが、近年の治療技術の進歩によって、早期に治療を開始すれば、腎臓の機能の低下を防いだり、進行を遅らせたりできるようになりました。

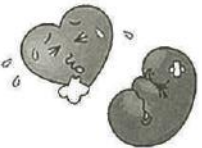
こんな人は要注意です！



高齢者



高血圧や糖尿病、肥満などの生活習慣病やメタボリックシンドロームがある



過去に心臓病や腎臓病になったことがある



家族に腎臓病の人がいる



検診などでたんぱく尿が見つかったことがある



たばこを吸っている

腎臓病の症状

- ・たんぱく尿
- ・血尿
- ・尿量の増減
- ・高血圧
- ・むくみ
- ・尿毒症（だるさ、疲労感、吐気など）



慢性腎臓病の予防

適度な運動

規則正しい生活・体重管理

禁煙

過度の飲酒を控える

減塩・食生活改善

予防には生活習慣の改善が必要です。高血圧や糖尿病などの生活習慣病がある人は、医療機関を受診してきちんと治療をしておくことが大切です。

<最後に>

近年、腎臓病は心筋梗塞や脳梗塞などとの関係も深い、大変危険な病気であることがわかってきました。慢性腎臓病の患者さんは、健康な人に比べて約2倍の確率で心筋梗塞にかかるリスクがあるという研究もあります。

また、腎臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれます。徐々に進行した腎不全では腎臓の機能が20%程度になるまで、体に異変や不調が見られることはほとんどありません。そのため、検査以外で発見されることはなく、自覚症状のないまま放置されがちです。さらに、腎臓の機能はあるレベルまで低下してしまうと回復することはほとんどありません。ですから、早期に発見・治療し腎機能の低下を防いだり、進行を遅らせることが大切です！

健康診断は定期的に受診するようにしましょう！

～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



新規事業「らうす寺子屋KIDS」

絵本を使った食育プログラムで体験活動もプラス！

長期休業中の子どもの生活習慣づくりを目的に北海道教育委員会主催事業「子ども朝活」と兼ねて社会教育課と公民館図書室が連携して実施しました。

期間は夏休み四日間と冬休み三日間のトータル七日間で、羅臼町独自のプログラムを企画しました。

対象は町内の小学校低学年で今年度は十二名の参加がありました。次回の募集をどうぞお楽しみに。

内容

- 朝の体操
 - 学習または読書
 - 読み聞かせ
 - 食育と連動した絵本
 - 調理体験
 - 創作活動
- 夏は「手づくり絵本」
冬は「自由な書道」
● 昼食（交流する場）
* 午前終了
- 左ページの写真参照

食育体験活動

らうす寺子屋KIDSは栄養士と司書の連携によって、子どもたちが深く学べるように、ユニークな食育プログラムを展開しています。

食材が育ち収穫を迎えるまでを描いている絵本や、日本人の食文化について楽しく学べる絵本を選んで読み聞かせを行い、体験活動と組み合わせ実施しています。

絵本



かがくいひろし作・絵

初めて
お米をといだよ。



親子参加で作った
「おにぎらず」



ごはんを炊くには…



テーマ 米

絵本を食育に活かして
楽しく学び、深く知る

とうきびの皮をむいた!



コーンライス
になりました。



もう、
ひとりで
ご飯が炊
けるね!



くすのきしげのり作
伊藤秀男絵

冬プログラムは「保存食」をテーマに実践しました。

「らうす寺子屋KIDS応援団」が協力！

町民有志が見守り活動

個人ボランティアの皆さんが快く協力して下さいました。



創作活動



学習

地域の皆さんの協力のことで
アットホームな見守り体制のな
か、いろいろな体験活動を行う
ことができました。
子育てを離れた世代の方に
とつても子どもと交流する良い
機会となり、楽しいボランティア
体験が出来たと好評でした。
来年度以降も引き続き協力者を
募集する予定です。



読み聞かせ



朝の体操



調理体験

体操、工作、料理、ひたすら見守る...など
得意なことでボランティア♡



習字ではない
「自由な書道」で
書いたよ！

日本文化を学ぶ

図書室では読書に親し
む取り組みとして「手づ
くり絵本」と「読書登山」
(二ページをメートル換算)
の体験活動を行いました。

読書体験活動

子ども達のテレビゲー
ムに費やす時間を調査し
た結果、羅臼町では全国
平均を大幅に上回る状況
となっています。その反
面、「読書が好き」と回答
した割合は高い結果が出
ています。

冬のプログラムは個性
を發揮した字を書くこと
を目標に「自由な書道」
に取り組みました。
また、若い世代が家庭
でお茶を飲まなくなっ
ていることから、きゆうす
でお茶を淹れたり茶た
くで出す事も学びました。



参加者全員
で合わせて
9,290ペー
ジを読み、
知床連山を
制覇しまし
た！

初めて絵本を作りました！



手づくり絵本
「いくら井」を
つくったよ！

らうす寺子屋KIDS作品展 H28.1.26~2.9

「自由な書道」と「手づくり絵本」を展示します。



城下町のわだい

みんなでまちづくり

12月3日(木)

羅臼中学校二年 丸井美蘭さんが奨励賞

第35回全国中学生人権作文コンテスト根室地区大会において、羅臼中学校二年の丸井美蘭さんが「忘れてはいけない事」と題した作文で見事「奨励賞」を受賞しました。
おめでとございました。



12月4日(金)

陶の会のみなさんが 知床・羅臼まちづくり基金に寄付

陶の会（代表 池田幸世）より、知床・羅臼まちづくり基金（豊かな心身を育み、明日へとほばたくまちに関する事業）に寄付していただきました。

ありがとうございました。
ありがとうございます。



12月4日(金)

みんなで作ったよ

「羅臼すみれ組園児が漬物をおすそ分け」の園児たちが役場を訪れ、漬物を届けてくれました。

この漬物はすみれ組だけの活動で、園児たち自らピーラーで大根の皮を剥いたり味つけもしています。昨年もお頂いていましたが、今年はこちらよびり甘めの味わいとなっていました。

すみれ組のみなさん、ごちそうさまでした。



12月9日(水)

岬町 森野昭一氏 高齢者叙勲で瑞宝単光章を受章

昭和二十三年十一月に羅白村消防団に入団され漁業の傍ら、昭和五十九年に消防団分団長に昇格、退団するまでの四十一年九カ月、羅白町の地域づくりのため消防活動に貢献、今回の受賞となりました。

おめでと
うございま
す。



12月14日(月)

バレエ、リコーダー全道大会 ―羅中、春中生徒健闘を誓う―

バレエボール、リコーダーの全道大会出場が決まった羅中、春中の生徒が役場を訪れそれぞれ町長に全道大会出場の報告をしました。

リコーダーは春中音楽部が一月八日(金)第30回全道リコーダーコンテストに出場し、見事銀賞を受賞しました。

バレエボールは羅中・春中の二校合同で、第42回北海道ジュニアバレエボールキャンプ(第2次)兼第36回北海道中学生バレエボール選抜優勝大会予選会に参加し二月上旬に全道四十二チームから二十四チームが選抜され、五月連休中に開催される大会に進むこととなります。



12月16日(水)

安心安全な 地域づくりのための

羅白町防犯協会(高橋宏会長)と羅白町交通安全協会(高嶋淳会長)共催による「歳末警戒防犯・交通安全啓発パトロール」が行われました。

町内の関係協賛団体より約五十名が参加、羅白オオワシブルーカーズの高岡唯一隊長の宣誓後、町内を巡回し、防犯の啓発を行いました。



12月24日(木)

サンタさんから贈り物

道の駅「知床・らうす」広場でクリスマススイベントが開催されました。

町商工会、同会青年部、町連合町内会が企画し会場では青く光るイルミネーションが

輝く中、サンタに扮した町長らから子どもたちへクリスマスプレゼントが渡されました。

また同じ会場では寒い中集まってくれた方々に豚汁も振る舞われました。



1月7日(木)

ご成人おめでとう！

平成28年羅臼町成人式

公民館大ホールにおいて成人式がおこなわれ、

新成人五十六名（町内成人対象者六十三名）が出席しました。

会場は色とりどりの振り袖や真新しいスーツに身を包み、久しぶりに会う友人との再会に笑顔があふれ、楽しいひとときを過ごした一日になりました。



1月10日(日)

初参加 知昭町 天神幸吉さん 「第8回海の幸コンテスト」金賞受賞！

平成二十年より行われている「第8回海の幸コンテスト」が羅臼漁協で開催されました。

羅臼の海産物を使い「地産地消」「食育」の推進を目的としたもので、テーマは「漬物」で、今回十四人が参加、松前漬けや飯寿司など計二十品が出品されました。

今回は初参加の知昭町 天神幸吉さんが出品した「とろろり羅臼昆布とトスイカの磯漬け」が見事金賞に輝き男性では初の受賞となりました。

天神さんが使った食材は養殖昆布、最近ではあまり取れないシマ昆布、トスイカと一緒に煮たものでシンプルに作っていますが、素材の味が活かされた一品となっています。

天神さんは「受賞するとは思っていなかった、羅臼で作れるもので商品化を考えている」と話してくれました。



北海道日本ハムファイターズ ～179市町村応援大使2015～

2015年11月27日(金)

吉川 光夫 選手 羅臼町表敬訪問

13:00 春松小学校訪問

吉川光夫選手が春松小学校を訪問

全校児童に迎えられた後、児童とのキャッチボールや質問コーナーで子ども達とふれあい、吉川光夫選手より記念品が贈呈されるとお返しに子ども達から、歌の合唱のお礼がありました。



記念品の贈呈



プロの球を受ける子ども達

14:00 ビジターセンター、展望塔、道の駅訪問

羅臼ビジターセンター、羅臼国後展望塔、道の駅を訪問

ビジターセンターでは、世界自然遺産知床の生態系や知床に生息する動植物の説明を受けました。

その後、展望塔にて間近に見える国後島を見た後、道の駅を訪れた吉川光夫選手は、好物のカニをすすめられると身がギッシリ詰まった大きな足を頬張っていました。



シヤチの大きさに驚き



カニの試食でご満悦

浜のかあちゃんの手作り料理を堪能



16:00 役場訪問

役場訪問

役場を訪問し、1年間応援してくれたことへの感謝と来シーズンの抱負を語りました。

その後、羅臼漁業協同組合女性部より三平汁等の食事の提供があり、浜のかあちゃん手作りの料理に舌鼓を打ちました。

17:45 トークショー&プレミアム抽選会

吉川光夫選手トークショー

町民体育館で行われたトークショーには、町民の方々約150名が参加しイベントでは、キャッチボールやバッテリーボックスの体験を楽しみました。

選手の直筆のサイン入りグッズが当たるプレミアム抽選会では94個のグッズが用意され、サイン入りの景品が見事に当選した参加者は大興奮。

最後に、吉川光夫選手と一緒に記念撮影会が行われ、参加された皆さんにとってはかけがえのない時間となりました。



質問に答える吉川光夫選手



吉川光夫選手の背番号と同じ34番の抽選番号でバットが当たった

2015年1月よりスタートした羅臼町応援大使企画も12月31日を以て無事終了致しました。

1年を通じ、事業に参加ご協力いただいた、町民の皆様ありがとうございました。また、今後も日本ハムファイターズの応援をよろしくお願い致します。

TAXコラム

(税務財政課通信)



「町税の納税は、お済ですか？」

12月末で町税の最終納期が過ぎました。

まだ、納税していない方は、早急に納税するようお願いいたします。

また、国保税の第8期分は2月1日、第9期分は2月29日が納期限となっておりますので、期限内に納税するよう併せてお願いいたします。

なお、町では、「公平・公明・公正」の観点から納税にも応じず、また納税誓約も履行しない滞納者に対しては、差押えなどの法的措置を執行し、収入確保に努めておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【1・2月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 1月31日(日) 2月28日(日) 午前9時～午後5時まで
 〈夜間窓口〉 1月29日(金) 2月29日(月) 午後8時まで

「償却資産申告書の提出は忘れずに！」

償却資産をお持ちの方や法人に通知いたしました償却資産申告書(黄色の用紙)の提出期限は、平成28年2月1日(月)となっております。まだ提出されていない方は、必要事項を記載のうえ、期限までに提出していただきますようお願いいたします。

なお、今回より「個人番号又は法人番号(マイナンバー)」の記載欄が新設されましたので、忘れずに記載していただきますようお願いいたします。

詳しくは、償却資産申告書に同封されております「償却資産申告書の書き方」をご覧ください。下記お問合せ先へご連絡ください。

〈お問合せ先〉役場税務財政課 TEL87-2113

人権擁護委員のおしらせ

平成二十八年一月一日付
 で法務大臣より田中郁子氏
 (新任)、山中伸行氏(再
 任)が委員に委嘱されまし
 た。

人権擁護委員は日常生活
 に埋もれている人権問題を
 救い上げるために、町長の
 推薦を受け、法務大臣から
 委嘱されます。

随時、人権相談に応じて
 おりますので遠慮なくご相談
 下さい。

○羅臼町の人権擁護委員は
 次の方です。

- ・山中伸行
- ・中陳美鈴
- ・田中郁子

寄付寄贈 ありがとうございました

【雑巾寄贈】

グループサンシャイン

代表 三好正美様

知床・羅臼まちづくり基金

【豊かな心身を育み、明日へと

はばたくまちに関する事業】

陶の会様

高橋力也様

【持続的な行財政運営が

できるまちに関する事業】

長岡紀文様



マイナンバー制度の利用が 開始されました



マイナンバー

平成28年1月から下記の手続きの際に、マイナンバーの記入が必要になる場合があります。

これらの手続きを行う際にはマイナンバーカード（通知カード又は個人番号カード）による番号確認と本人確認書類（運転免許証等）が必要になりますので、手続きの際には忘れずにお持ちいただきますようお願いいたします。

※個人番号カードをお持ちの方は本人確認書類は必要ありません。

【マイナンバー（個人番号）の記入が必要になる手続き】

保健福祉課 (87-2161)	<input type="checkbox"/> 児童手当の新規認定請求
	<input type="checkbox"/> 児童扶養手当の新規認定請求
	<input type="checkbox"/> 特別児童手当の申請
	<input type="checkbox"/> 介護保険の介護認定、更新、区分変更の申請
	<input type="checkbox"/> 自立支援医療（更生医療・精神医療・育成医療）の手続き
	<input type="checkbox"/> 生活保護の申請
	<input type="checkbox"/> 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金に関する請求
	<input type="checkbox"/> 国民健康保険の再発行、高額療養費、療養費の手続き
	<input type="checkbox"/> 後期高齢者医療の再交付、高額療養費、療養費の手続き
税務財政課 (87-2113)	<input type="checkbox"/> 固定資産税の減免申請
	<input type="checkbox"/> 軽自動車の減免申請
	<input type="checkbox"/> 償却資産の申告
環境生活課 (87-2115)	<input type="checkbox"/> 住所・氏名の変更 ※通知カード・個人番号カードの記載内容の変更が必要となります。

また、今後法改正などにより、マイナンバーが必要となる申請や届け出が追加となる場合があります。追加となったものについては、随時お知らせ致します。



おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

(掲載はいずれも平成27年11月11日～平成28年1月10日受付分)

(掲載はいずれも平成27年11月11日～平成28年1月10日受付分)

俳句同好会「羅白いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。 〒086-11023 羅白町栄町 羅白いさり火吟社 宮腰 實 (電話)0153-87-3758	から松に十一月の陽の光り	冬ざれて空き家の目立つ孤独かな	好漁に漁婦の笑顔や冬麗	湯豆腐や切り出しにくい本音かな	悲しきは父母のいさかい年の暮れ	鈍色の大波砕け冬ざるる	冬うらら小樽の街の昼下がり	羅白いさり火吟社 12月例会句 平成27年12月
	千帆	日奈	羅牛	泥舟	鹿山	英美	悠羅	

人の動き

平成27年12月末現在 ()内は平成27年11月末対比

人口	5,441人	(-20)	男	2,700人	(-11)
世帯	2,138世帯	(- 8)	女	2,741人	(- 9)

編集後記

気づけば1月も下旬となり日々の早さを感じます。昨年の冬は今頃からだんだんと降雪量が増え、2月の大雪に見舞われました。今のところ除雪をすることも少なく助かっています。雪や寒さは生活していく上でいらないと思ってしまうですが、季節を感じるものとしてはあってほしいと思います。みなさんはどうでしょうか。(Y)

羅白町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅白の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りを持ち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅白町

■広報らうす平成28年1月号

編集／羅白町 企画振興課 企画振興係
 〒086-1892 目梨郡羅白町栄町100番地83
 ☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>